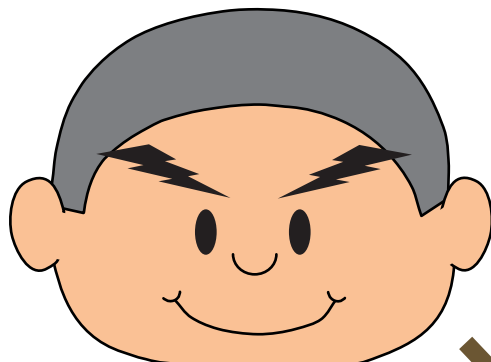


「節分には秦野の落花生を」

キャンペーン



丹沢のぼる君が
仮装しています。

節分と落花生

北海道、東北、信越地方では当たり前の落花生による豆まき。

伝統的な大豆から落花生に変化したのは「昭和30年代、北海道から」（全国落花生協会）。

開拓文化で物事を合理的に考える道産子は、「雪の中でも落花生なら拾いやすい」「食べ物が粗末にならない」などの理由から落花生を撒くようになり、それが雪の多い東北や信越地方にも広がっていったようです。

大豆の場合、撒いた豆は処分してしまい食べる豆とは別という場合がほとんどなのですが、落花生の場合、撒くものと食べるものが一緒。

なるほど、殻付きですから中身はきれい、大きいから拾うのも簡単、小さなお子さんでもそこそこ安心。とても合理的な考え方です。

- ① 外枠の灰色の線に沿って切り抜いてね。
- ② 目と耳の丸の部分を持ち抜いてね。
- ③ 両耳に輪ゴムをくっつけて完成。



制作：
秦野市観光協会